



お世話になりました



県人会長 千田 曠暁

謹啓 会員各位様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

本年もお蔭様で数多くの活動は計画通り無事に達成する事が出来ました。ひとえに皆様のおかげとご理解とご支援の賜物であります。特に初年度よりスタートしました「賛助会員制度」は母県の内外、そして海外からもご賛同を得て、既に40名様のご入会の栄を頂いております。誠に有難く深く感謝申し上げます。

ここブラジルは多民族国家、すなわち他人種との交流が日々の暮らしです。それぞれ違う母国の影響を受けたブラジル人社会の思考や行動、そして生活パターンはまさしくコスモポリタンです。

一方、気候、風土、文化その他すべてに違う日本に対する深い関心と憧れを持つブラジル国民は決して少なくありません。その為、時にお互い大変興味ある交流の機会が生まれます。

当県人会は、母県の方々に是非これらのチャンスによりよくお役立て出来ますよう、橋渡し役にあたります。既に今年は文化面で母県の児童の絵画及び書に関する交流を始めました。また国際交流の一つに、在ニューヨーク岩手県人会との連携で、母県の特産品(銘酒南部美人)をご紹介するお手伝いも始めました。

いずれも当県人会のモットーである交流を通じた親睦を深めるための大事な事業活動と考えます。今後とも皆様のご意見を参考に県人会の輪を大いに広げる努力を払います。

年末にあたり、楽しいクリスマスと幸多き新年を迎えられんことを、心より祈念申し上げご挨拶と致します。

年末にあたり、楽しいクリスマスと幸多き新年を迎えられんことを、心より祈念申し上げご挨拶と致します。

年末にあたり、楽しいクリスマスと幸多き新年を迎えられんことを、心より祈念申し上げご挨拶と致します。

ロータリークラブ国際会議出席のため、2回来伯し当県人会会員とも親交を深めた「南部利昭氏(旧南部藩第45代当主)」は、このほど「靖国神社宮司」に就任された。(宮司=神職で最高の意。宮司(ぐうじ) 弥宣(ねぎ)、権弥宣(ごんのねぎ)などの職名でよばれ、浄、明、正、直と4つの階位と6つの級からなる)

靖国神社秋季例大祭が10月18日から20日の3日間にわたって斎行され、18日の当日祭には勅使が参向し天皇陛下よりの幣帛が奉られた。

南部宮司は就任以来初めての奉仕で、大祭を仕切られた。就任式は中央でも行われたが10月25日訪日中の菊地義治前県人会長も盛岡での就任祝いに招かれ親交を深めた。その折、殿様に以前からの夢であった県人会「名誉総裁」についてをお願いを菊地氏より話して頂き、内諾のご返事を頂きました。いずれも、大変嬉しいニュースです。



親交を深めた殿様(中央) 菊地氏、熊谷氏など

殿様・靖国神社の宮司に就任

当岩手県人会「名誉総裁」ご内諾



先導に続き参進する南部宮司以下神職



県人会40周年には、名画「岩手山」の寄贈を頂いており、ホールに掲げられた雄大な岩手山は、守護神のごとく会員を見守っております。

『紀宮さま』婚約内定

おめでとうございます
お相手は黒田慶樹さん

天皇家の長女、紀宮さま(35)の婚約が内定した。お相手は東京都職員の黒田慶樹さん(39)。

黒田さんは紀宮さまの兄、秋篠宮さまと学習院の同級生で、紀宮さまとも幼少時代から面識があった。

天皇、皇后陛下は既に承知されており、年内にも婚約が正式発表される。一般の結納にあたる「納采の儀」を経て、来年春にも挙式予定。



ブラジルから励ましの声

N H K 特別生中継

新潟・中越地震被災者へ



(中継風景・南雲県人会長や関係者ら)

10月23日夕突然襲った新潟中越地震は、ブラジル日系人にも大きな衝撃を与えた。直後から日系社会が協力し義援募金を行っている。県人会でも新潟県人会へ協力。前会報では銀行振込のお知らせを致しました。その他県人会でも募金箱を設置し多くの方々の協力を頂いております。

N H K では急遽11月6日夕刻「中越地震・私達が出来る事」の特別中継放送がリベルダーゲ広場で行われ、文協、新潟県人会、県連関係者が出演「被災者の皆さん頑張って・中越地震地に義援金を」と訴えた。

新潟県川西町出身、金子さんの実家が被災、遠くにいて何も出来ないが、せめて募金キャンペーンなどの協力をしたい。南雲県人会長は「冬はそこまで迫っている。被災者の身になったら、涙が出そうな毎日ではないかと思

う」と語った。折から通行中の邦人が募金に協力する場面も見られた。その後、日系社会から多くの善意が寄せられている。

ブラジル子供の絵画を展示

独特の色彩が特徴 (町民芸術文化祭)

(胆江日日11月1日)第18回金ヶ崎町民芸術文化祭が10月31日、町中央生涯教育センターで開幕した。舞踊、大正琴、太鼓の合同発表会のほか、作品展なども始まり、町内の同好会メンバーらの絵画や書、ちぎり絵などの作品がずらりと並び、来場者の目を引いている。



児童絵画や書と県人会ニュースも展示

7月末にブラジルで開催された「フェスティバル・ド・ジャポン(日本まつり)」に同町児童の作品を送った(19点)事がきっかけで、ブラジルから送られてきた子供たちの習字や絵画などの作品18点も展示。

ラテン独特の色づかいと生き生きとしたタッチで描いたライオンやサーカスの絵画が印象的。同町西根の千葉さんは「町内では見る機会の少ないブラジルの子供たちの作品で独特の色彩は、見ている側を元気にさせるエネルギーに溢れている」と述べた。

同新聞21日付で、作品109点がブラジルから送られてきた。町の中央生涯教育センター、三ヶ尻地区センターに分けて展示している。今後も各地域の学校で展示される予定と報道。

作品交換の橋渡しをした同町三ヶ尻の有住辰志さん(64)は「作品の上手、下手よりも文化交流が一番大切。海外と結びつきがある事で、子供たちが大人になったときの宝になる」と期待。

県人会の動き(11月)

- 2日 休日・ブラジルのお盆。
- 3日 蔵元久慈氏(賛助会員)より、南部美人初上陸を記念しお酒を提供したいとメール。※ 会報の割付、校正作業を行う。※ ブラジリア在沼崎秀明氏友人が本人の会費支払いに来所。
- 4日 賛助会員一高橋洋介氏、久慈浩介氏に45周年記念VTRを発送。※ 多田マウロ君よりポ語原稿受信。※ ニッケイ・グラフィックスへ会報印刷を依頼。
- 5日 金ヶ崎町役場の千葉由佳里さんより10月30日～

11月3日まで町芸術文化祭や国際交流パーティーでも展示されたブラジル児童作品の写真11枚をメール受信。11月16日より三ヶ尻地区センターの文化祭でも展示予定と。

- 6日 高級地酒「南部美人」蔵元の久慈浩介氏が来年4月NY経由でブラジルを訪問とメール。
※ 午後6時からNHK特別中継放送新潟中越地震被災者へ「ブラジルから励ましの声」に、千田会長も関係者らと出演。
- 9日 渡辺保相談役夫人の須磨子さん(婦人部相談役、理事正君の母)は昨夜急逝されたと知らせあり。ご遺体は午後アチバイア近郊のジャリヌ市営墓地に葬。千田会長夫妻、藤村副会長、田中婦人部長、伊藤春野、千田まさ、児玉フクエ、菅原英一家族、巖岩毅さんなどが出席。高橋昭二郎氏、塚田修吾氏などの香典を届ける。※ 賛助会員久慈氏(二戸在)より、高級地酒南部美人3本の提供あり。※ 盛岡の吉田重雄氏(賛助会員)より電話があり、NHK中継・地震被災者へ励ましの声ブラジルからの生中継に千田会長も写っていたと。遠い国からの応援に有難い事だと言っておられた。
- 10日 会報122号発行。会員、日系社会、海外県人会、母県賛助会員、母県関係者へ400余部発送。
※ 金ヶ崎町役場より同町で行われた町民芸術文化祭記事(ブラジル子供の絵画)の送付あり。
- 11日 会員からの中越地震募金があり、急遽募金箱を会館に設置。※ マリリア支部長の小沢勇氏は10月31日逝去されたとのご連絡。(享年83歳)
- 12日 ニッケイ新聞大耳小耳欄に南部美人(地酒)と蟹、豆腐汁目当てに何とか「越境」して、岩手県人会に入会させて貰おうかなと言う人が増えそうだとの記事。※ パラグアイ国ピラポ県人会工藤会長へ45周年記念式典についてファックス。
- 13日 会計監査。高橋昭二郎、栃沢千秋、伊。春野高橋万右衛門監査、昆野会計、山道事務長、千田会長立ち合う。※ 午後より定例役員会開催議題は、中越地震義援金募金、会計報告、忘年会定期総会新年会、ピラポ県人会式典参加、備品整理、地方への図書貸出送付などについて。
※ 夕刻菊地さんが来館。県訪問では県国際課を訪問、増田知事を表敬出来たと。また南部氏には県人会名誉総裁への内諾があったとの事。
- 14日 北海道協会で行われた長野県人会創立45周年記念式典へ千田会長夫妻出席。話題の田中康夫知事出席の為か参加者多く400名強。
- 15日 休日 共和制宣言記念日
- 17日 冷蔵庫修理。※ ニッケイ新聞、当会のニューアイデア 地方へ図書貸出しについての記事あり。
- 18日 婦人部集会。※ ニッケイ新聞-14世紀の古文書日伯往復。故郷の花巻市博物館に納まると記事
※ 新聞記事3編を母県など関係者へ発信。
- 19日 海外県人会に関する調書を県へ発信。※平成17年度賀詞対象者調書を県より受信。
※ 苦米地さんへ県人会記事掲載新聞2部を発送。
※ 計理士へ監査済帳簿(7月~9月分)を届ける。
- 23日 高橋万右衛門氏舞台階段へ手摺り取付け作業を行う。手摺りは高橋氏よりの無料奉仕。
- 24日 菅原圓雄氏(賛助会員)より会報、記事受領などのハガキあり。

- 25日 忘年会、役員会案内状を発送。
- 26日 栃木県人会で行われた県連代表者会へ千田会長出席。※ 賛助会員「藤村勝巳」氏初来伯。
役員有志による歓迎夕食会を催す。出席千田夫妻、藤村、佐々木、高畑、田中、及川、マウロ、ワシントン山道事務長。
- 29日 東北6県会長、邦字紙2社へ地酒南部美人試飲会案内状を発送。※ 苦米地さんより新聞送付に対し鄭重な礼状あり。

『賛助会員 叔父家族を初訪問』



(勝巳さんと集まった役員)

11月26日、県人会賛助会員「藤村勝巳さん」(盛岡市本宮、社会福祉法人土淵朗親会理事)が叔父藤村光夫氏家族の招きで初来伯された。

県人会として初めての賛助会員を迎え、早速役員有志にて同日夕歓迎会を行った。藤村さんは開ロ一番成田では奥さんも含め3500人の見送りがあった。エッと聞くと、実は韓国ドラマ「冬のソナタ」主役ペ、ヨンジョンさんの出迎えだったと。奥さんの見送りは「ヨンさん」がお目当てだったらしいとご謙遜。さすがジョークの巧い藤村さんの甥だと思った。

一昨年県人会45周年キャンパの為、千田会長夫妻、高橋凡児、藤村光夫両副会長が母県を訪問したおり、藤村さんの実家で母親の13回忌、兄(勝巳さんの父)の3回忌を兼ねた「法事」が行われ、私ども3人も招かれた。勝巳さんご家族やご親戚の皆さんと親しくお会いしました。父親は2回訪伯との事。

叔父藤村さんのブラジル案内が始まるが、二人旅でどんなジョークが飛び出すか?。(Boa Viagem)

お知らせ

☆第46期定期総会・2005年度新年会は2月13日(日)に行われます。

☆第8回日本まつり(Festival do Japao)会場と期日が決まりました。期日は2005年7月22日より24日まで、州農務局パビリオン(CentroExposicao de Imigrante バンデランテ街道添い)で行われる事となりました。

☆朗報 県人会では地方や市内在住者で出歩けない人の為にも、県人会図書を郵送して上げようと話し合っております。

逝 去

★渡辺 須磨子さん(85才)相談役保氏夫人は11月8日夜急逝され、翌9日アチバイア近郊ジャリヌ市営墓地に埋葬されました。須磨子さんは前婦人副部長も務め、永い間活動に参加されていた。近年は夫保氏の看病で無理をされていた。尚49日法要は19日(日)午後2時よりトレスコロア日会(Rua Japaraiquara 696 Ponte rasa)で行われます。

★小沢 勇氏(マリリア支部長)は10月31日逝去された。小沢氏は支部会員の融和に努められていた。お二人方のご冥福を祈ります。合掌。

◎ 会費納入者 (敬称略)

武田 吉春、田中 保子、累計172名

◎ 寄付・寄贈

舞台階段の手すり 高橋 万右衛門 様

サンパウロ案内 (5) 暮らしの値段

ホテル・アパート(日本式) その他 (物価、1円=0.028の場合)

ホテル代は地域により大差があり、最近フラット式ビジネスホテルが流行っている。

★4星クラス 一泊 R 200以上、7200円以上(欧米に比べめちゃ安い)

★リベルダーデ地域 一泊 R 50より 1800円から(1ヶ月R900より 32000円 このクラスでもクリーンで 安全です)

★フラット パウリスタ地区(ホテル式)

1週間1回 R 70/日 17000円
1ヶ月 R 1500 53000円

何れも朝食バイキング付き、ミニキッチンもあり。

「アパート」100+3LDK (サウナ、ジム、プール、BBQ)

家具付き 1ヶ月 R 1500 53000円
家具ナシ 同 R 1000 35000円
管理費 R 350 ~ 500 12300~18000円 ガレージ、水道代が含まれる。
ケーブル・テレビ (NHK 他) 月 R 80 2800円
電気代 1ヶ月 150KWh R 50 1750円

「その他」お手伝いさん 週1回でR50 1800円

「物価」米5kg 800円(ブラジル産日本米)
近年大変よくなりました。(米産輸入米もあり)

その他日本食品(国産、輸入品など)何でもあります。

- ☆ビール 1本 100円位
- ☆ピンガ(地酒) 1本 150円位
- ☆定食 1000円前後
- ☆フルーツは年中豊富で安く美味しい。

※ 賛助会員皆様へ

勝手なブラジル案内を一方的に行っておりますが、会員皆様からの質問、問い合わせにもお答え致したく思いますので、どしどし質問、問い合わせなどお手紙、FAX、メールでお寄せ下さい。

ふるさとだより

(岩手日報より)

献上・岩手のリンゴ

天皇、皇后陛下をはじめとする皇族に献上する本県産「リンゴ」の箱詰め作業が11月18日盛岡市内のホテルで行われた。

県果樹品評会で継続して上位入賞している生産者で構成する「蛍雪会」のメンバーが参加。

盛岡市や江刺市産のジョナゴールドとふじ、金星を一個一個丁寧に箱詰めし、計20箱そろえた。

献上は1940年から始まったとされる。今年は相次いだ台風の落果被害などで、前年より18%減少したが、味は申し分ないとのこと。

折しも長女紀宮さまの婚約内定の報もあり、会場は和やかな雰囲気。同会では「心を込めて作った最高のリンゴ、是非ご婚約者も交えて食べてほしい」と笑顔で話した。



左(丁寧に献上リンゴを箱詰めする生産者)

右(力いっぱい杵を振るい餅搗きを楽しむ児童)

収穫祝い三世代餅搗き

二戸市の御返地小(児童71人)は、同校体育館で三世代交流収穫祭をこのほど開き、父母や地域住民と手作りの炊き込みご飯や餅料理を味わった。

全校児童と父母のほか、同地区の老人クラブの高齢者ら合わせて140人が参加。同校近くの水田で先月収穫したうるち米と餅米を調達した。

児童は杵と臼を使う昔ながらの餅搗きに挑戦。お年寄りの指導を受けながら交代で杵をふるい「よいしょ、よいしょ」と掛け声を響かせた。

搗き上がった餅は、きな粉、あん、醤油で味付け参加者全員で会食し収穫の喜びを分かち合った。

訂正 県人会ニュース122号中、苦米地さんの古文書写真年代、建久2年(1335)は、建武2年と訂正致します。